

NISSIN 日清食品ホールディングス

NISSIN REPORT

NISSINの「今」を伝える報告書

vol.

66

2013.4.1



2014.3.31

証券コード：2897

FOCUS NOW

NISSINの技術革新を支える
新研究所誕生!

NISSIN'S NOW

安藤CEOが語る「今」そして未来

日本から世界へ
FOOD WAVEを起こす!!



FOCUS NOW

NISSINの技術革新を支える 新研究所 誕生!



技術・開発・研究の拠点としてイノベーションと究極の安全を生み出します。



「グローバルイノベーション
研究センター」が担う

INNOVATION



「グローバル食品安全
研究所」が約束する

FOOD SAFETY

世界の食の発信基地を目指して2014年3月
新研究所、通称“the WAVE”始動。

創業の原点

外観は即席めんを製造する機械の刀の部分「切刃^{きりは}」をモチーフとした円筒状の棟と、その間から切り出される麺をイメージさせた外壁で、ラーメンの製造を表現。

01



Eco!

02

エネルギーを作る

屋上にはリップマークと呼んでいるグループのロゴマーク“NISSIN”を模したソーラーパネルを設置。この他にも環境配慮の工夫が満載。



カップヌードル?

研究所であってもユニークさは健在。ロビーにはカップヌードル型のイスを設置しています。研究所のあちこちに“NISSINらしさ”をちりばめて。

03





代表取締役社長・CEO
安藤 宏基
Koki Ando

日本から世界へ

FOOD WAVEを起こす!!

日清食品グループの中長期的な成長の要となる新研究所“the WAVE”が東京都八王子市にオープンしました。最先端の設備を誇るこの研究所が、今後のNISSINをどう変えるのか。安藤CEOにその全貌を聞きました。

Q まず始めに、第66期の業績について教えてください。

第66期の国内経済は、政府の機動的な金融政策の本格化により、安定した回復基調を維持しました。昨年9月には2020年夏季五輪オリンピック・パラリンピックの東京開催も決定し、日本国内に明るい希望が多く見えてきた1年だったといえます。即席めんを中心とする当社の事業は、比較的景気の影響を受けにくく、いかに魅力的な製品を投入できるかが業績を左右します。そんな中、国内では袋めん「日清ラ王」がまるで生めんのような品質を高く評価され、売上を大きく伸ばしました。また海外事業においても、中国地域で中国版カップヌードル「合味道」の積極的な販売戦略により増収増益となり、グループ全体の業績に貢献しました。

その結果、当期の当社グループの売上高は前期比9.1%増の4,176億円、営業利益は前期比15.7%増の277億円。当期純利益は前期比2.2%増の193億円となり、増収増益を達成しました。

Q 3月にはいよいよ新研究所“the WAVE”が完成しましたね。

“the WAVE”は今年の3月、東京都八王子市にオープンした新しい研究所です。食の先端技術を切り拓くことで、イノベーションの新しい“WAVE(ウェーブ)＝波・波動”を起こし、世界

“the WAVE”で行われる研究は「基礎研究」「応用研究」「安全性研究」「機械開発」の4つ。ミーティングルームなども多く設置し、人が集まる風通しの良い空間に。



中に広げていきたいと考えて名付けました。また、デザインは建築家であり早稲田大学教授の古谷誠章さんに監修していただきました。ユニークなのはその外観で、エントランスには製麺機の「切刃」をモチーフとした円筒状の2本の棟が建っており、壁面にある無数のルーバーはラーメンの麺をイメージしています。つまり、「切刃」から切り出される麺＝創業の原点を象徴したデザインです。

さらに食の基本である食材はすべて大地や環境が育むものであるとの認識のもと、環境と対話する建築物を目指し、ルーバーを用いた日射制御やソーラーパネルによる電力補助など、先進的な環境システムを取り入れました。



食の先端技術を切り拓き、世界に伝えていきたい。

規模は滋賀県にあった旧来の「食品総合研究所」と「食品安全研究所」の約2倍で、食品研究所としては日本最大級の規模を有しています。

Q “the WAVE”は今後どのような役割を担うのでしょうか。

“the WAVE”には、2つの研究所があります。1つが食の安全を担う「グローバル食品安全研究所」です。この「グローバル食品安全研究所」では、食の安全に関する世界屈指の管理体制を敷いています。先ごろ国内では食品への農薬混入事件が大きく報道されましたが、当社ではNASRAD-700という最新の分析システムにより、原材料に含まれる可能性のある545種類の残留農薬と、188種類の動物用医薬品を一斉に分析することができます。万が一当社で報道にあったような農薬の混入が発生したとしても、サンプル入手からおよそ3日で混入物を特定し、迅速に対応できる体制を構築しています。

人の健康に関する研究は、絶えず新事実が判明しています。つまり、食の安全に絶対はないのです。受け身ではなく、問題にいち早く対応し続けることが重要です。「グローバル食品安全研究所」は今後さらに、国内はもとより海外の工場の安全性についても集約管理し、グループの全製品の安全を担保していきます。そして将来的には、当社グループだけでなく、全世界1,000億食を超える即席めんの安全性は、この研究所が責任を持って管理するという気持ちで、世界の即席めんの情報発信地、品質のコントロールタワーとして活躍させたいと考えています。

Q “the WAVE”は新たなイノベーションを生み出す場にもなるのでしょうか。

当社グループの強みであるイノベーションを技術の面から支えるのが、もう1つの研究所「グローバルイノベーション研究センター」です。この研究センターで特徴的なのは、生産工場に準拠したテストラインを導入したことでしょう。新設したテストラインは、全長100mにも及びます。これまでは開発された試作品を大量生産するために、実際の生産現場でのラインテストを通して生産条件の確認・設定が必要でした。今回、研究所内にフルスケールの連続式マルチラインを導入したことで、研究所内で量産化条件を事前に検討できるようになり、発売までの時間を短縮できると考えています。

また、同研究センターに「機械開発」部門を設け、ラインの設計・開発にも取り組みます。独自のノウハウを内部に蓄積することはもちろん、製品開発の迅速化と効率化を図ります。

さらに今回、「グローバルイノベーション研究センター」にはチルド・冷凍の開発研究所を移管し、また菓子や飲料の開発機能も設けました。当社グループではこれまで、麺の技術を菓子に応用するなど、グループシナジーを活かし画期的な製品を開発してきましたが、今後はさらに同研究センターを中心として、グループが持つ食品加工技術を融合した全く新しい製品の開発を目指していきます。

Q “the WAVE”は今後の海外戦略にどう寄与していくとお考えですか。

現在、当社グループでは真のグローバルカンパニーになるべく「海外での成長」を最重要課題として位置づけています。続々と海外新規市場への参入も図っており、直近では今年の3月、北アフリカに位置するモロッコで現地法人「マグレブ日清」を設立。モロッコ、アルジェリア、チュニジアで即席めんの販売を開始しました。

今後、“the WAVE”が世界のイノベーションのセンターコアとして、香港、アメリカ、シンガポールにある研究所など、世界中の開発拠点と連携しながらグローバル戦略を進めていく大きな存在になっていくだろうと考えています。

Q 最後に、株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

当社グループの経営の基軸は「イノベーションとマーケティング」です。その中で最も重要なのが、なんといってもユニークであること。食は楽しくないはいけません。イノベティブでユニーク、さらにグローバルでハッピーな新製品を、これからもここ“the WAVE”から発信していきたいと思っています。

株主還元については配当性向40%を目途に、皆様のご期待に応えていけるよう株主価値向上に努めてまいります。また、当社グループへの理解を深め、ファンになっていただけるような取り組みを進めてまいります。変わらぬご支援のほどよろしくをお願いいたします。



製品で知る「今」

皆様の食卓を彩る日清食品グループの製品群。
グループの製品を一部ご紹介します。

CHECK! 日清食品グループの製品情報はグループサイト <http://nissin.com/> をご覧ください。



01

日清食品

日清ラ王

背脂コク醤油

「日清ラ王」シリーズは今回、消費増税後のお客様の節約志向を取り込むべく、「新!ラ王始まる お求めやすくなりました。」というキャッチコピーのもと、高額カップ麺のラ王をメーカー希望小売価格198円(税別)へと大幅に下げてリニューアルしました。“まるで、生めん。”の美味しさとボリューム、大きな厚切焼豚そのままに、さらにお求めやすくなった価値ある「新ラ王」をぜひご家庭でお楽しみください。

日清食品

カップヌードル

トムヤムクンヌードル/ミーゴレン

魚介の旨みが濃厚なクリーミータイプのスープと、レモングラス、ライムリーフなどの香りが食欲をそそる「トムヤムクンヌードル」。コク深い甘さとチリの辛みが特徴のソースに、香ばしい風味のフライドエシャロットが決め手の「ミーゴレン」。いずれも海外現地法人の協力のもと、本場の食材にこだわって開発しました。グローバル展開する当社グループだからこそできた本場の味をぜひご家庭でお楽しみください。

日清食品

日清カレーメシ

中辛/辛口/大辛/
トマトカレーメシ

新発売の「カレーメシ」は、「カップカレーライス」からブランドを一新し、固形ルウでもレトルトでもない「第3のカレー」ともいうべき新しいポジションの確立を目指します。また、ダイスミンチの旨みを増し、ポテトを大きくすることで食材の存在感をアップ。中辛・辛口・大辛という辛さバリエーションに加え、メニューバリエーションの「トマトカレーメシ」もラインナップしています。

02

明星食品

明星 中華三昧

芳醇醤油/海鮮塩/濃厚味噌

今回、33年目を迎える「明星中華三昧」シリーズは洗練された高級中華料理のつゆそばの味わいを目指し、リニューアルを行いました。しなやかでコシのあるノンフライ麺に、オイスターソースとXO醤を効かせた深みのあるスープが特徴の「芳醇醤油」。蟹香油(カニコウユ)と蝦醤(エビジャン)をアクセントにした「海鮮塩」。3種の醤(ジャン)を効かせた「濃厚味噌」の3種類をご用意しました。

03

日清食品チルド

日清の太麺焼そば 屋台風ソース

からしまヨネーズ付き 2人前

食べごたえのある太麺と濃厚な液体ソースが特徴の「太麺焼そば」シリーズから、屋台風ソース(からしまヨネーズ付き)が新登場。スパイスが特徴のウスターベースのソースに、旨さを際立たせる、からしまヨネーズがよくからみます。焼そば専門店さながら、贅沢な味わいをご家庭でお楽しみください。

※全国(北海道を除く)

04

日清食品冷凍

冷凍 日清具多 辣椒担々麺

冷凍 日清スパ王プレミアムBIG
ソーセージの入った
ナポリタン

「冷凍 日清具多 辣椒担々麺」は肉味噌・たけのこ・きくらげ・チンゲン菜の充実具材と、芝麻醤・すりごまを贅沢に使った濃厚な担々麺(花椒入り唐辛子付き)です。「冷凍 日清スパ王プレミアムBIG ソーセージの入ったナポリタン」は、完熟トマトのケチャップで野菜の甘みを感じるナポリタンです。まるごと食べても、取り分けても満足いただける味わいとボリュームの仕上がりです。

05

日清シスコ

ごろっと果実のグラノーラ ごろっと大豆のグラノーラ ごろっと野菜のグラノーラ

新ブランドの「ごろっとグラノーラ」シリーズは、存在感のある素材と食感、自然な甘みが特徴です。5種類の果実とメープルの甘さが際立つ「ごろっと果実のグラノーラ」のほか、たっぷりの大豆がブレンドされた「ごろっと大豆のグラノーラ」、彩り豊かな野菜がいっぱいの「ごろっと野菜のグラノーラ」をご用意。忙しい朝でも食べて楽しい、おなかにもうれしいグラノーラです。

06

日清ヨーク

トマトの乳酸菌 200ml

「トマトの乳酸菌」は、トマトから見つけた新しい植物性乳酸菌[トマトLP14乳酸菌](特許取得)を使用した乳酸菌飲料です。[トマトLP14乳酸菌]は胃酸に強く、生きたまま腸に届き、腸内環境を整えるので、朝の空腹時にもおすすめ。野菜とフルーツも同時に摂れ、すっきりとした飲み口に仕上げた全く新しい乳酸菌飲料です。

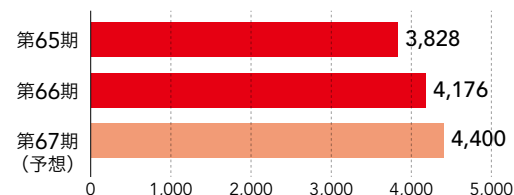
※全国(沖縄を除く)

数字で見る「今」

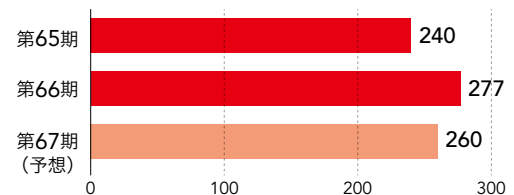
日清食品ホールディングスの主な経営指標を基に、第66期の業績について解説いたします。

売上高	4,176 億円	前年同期比 109.1%
営業利益	277 億円	前年同期比 115.7%
経常利益	348 億円	前年同期比 112.5%
当期純利益	193 億円	前年同期比 102.2%

■ 連結売上高 (単位: 億円)



■ 連結営業利益 (単位: 億円)



※表とグラフ内の記載金額は、表示単位未満の端数を四捨五入して表示しています。

業績報告

当連結会計年度における連結売上高は4,176億円となり、前年同期に比べ348億円の増収(9.1%増)、日清食品グループとして初めて4,000億円の大台に乗り、過去最高の売上を達成しました。

その主な要因は、国内即席めん事業の日清食品セグメントにおける袋めん類「日清ラ王」群の売上が引き続き好調に推移したことや、中国地域セグメントで中国版カップヌードル「合味道」の積極的な販売戦略により売上を大きく伸ばしたことによるものです。

営業利益は277億円となり、前年同期に比べ38億円の増益(15.7%増)となりました。この要因については、原価率が高まったことや広告宣伝費、一般管理費が増加したことなどの減益要因があったものの、売上高の増加による増益要因がそれらを上回ったことによるものです。

経常利益は、持分法投資利益、受取配当金および為替差益などの営業外収支71億円により、348億円となり、前年同期に比べ39億円の増益(12.5%増)となりました。

当期純利益は、投資有価証券の売却などの特別利益が35億円、国内の生産工場の更新を図ることで発生した減損損失、固定資産処分損などの特別損失が66億円で、ほぼ期初計画通りの193億円となり、前年同期に比べ4億円の増益(2.2%増)となりました。

次期業績予想

次期の連結業績予想につきまして、売上高については国内事業が41億円増収の3,480億円、海外事業が183億円増収の920億円、全体の連結売上高が前年比224億円増の4,400億円を見込んでおります。

営業利益については、国内事業で資材高騰の影響等を考慮し、連結営業利益は17億円減益の260億円を見込んでいます。経常利益は前年比38億円減益の310億円、当期純利益は前年比7億円増益の200億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

主な経営指標(連結)

(単位: 百万円)

科目	第64期	第65期	第66期	第67期 (予想)
売上高	380,674	382,793	417,620	440,000
営業利益	26,211	23,954	27,705	26,000
経常利益	28,099	30,964	34,840	31,000
当期純利益	18,538	18,855	19,268	20,000
総資産	414,717	446,132	479,469	—
純資産	286,657	315,026	342,300	—
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	6.7	6.4	6.0	5.9
1株当たり当期純利益(円)	167.97	171.12	174.83	181.45
1株当たり純資産(円)	2,545.31	2,782.25	3,018.82	—
自己資本比率(%)	67.6	68.7	69.4	—
1株当たり配当金(円)	75	75	75	75

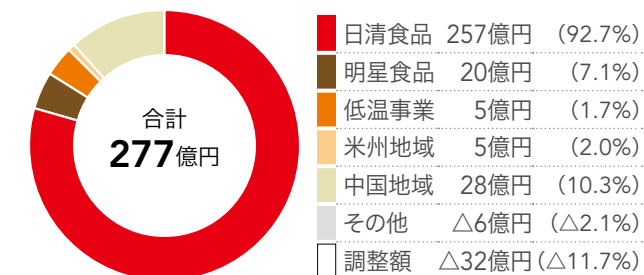
※記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

セグメント別売上高



※グラフ内の記載金額は、表示単位未満の端数を四捨五入して表示しています。

セグメント別営業利益



詳しくはグループサイト「株主・投資家情報(IR)」をご覧ください。 >>> <http://nissin.com/jp/ir/>

NISSIN WITH CSR

NISSINが「今」できること



百福士プロジェクト

第12弾

自分を守り、人を助ける

「もしもの時の日清メン 養成プロジェクト」

未曾有の被害をもたらし、数多くの尊い命が失われた東日本大震災。あの日を教訓として、自らの力で自分を守る「自助」とそのための備えの重要性を痛感させられました。今後巨大地震の発生も日本各地で予想されており、個人、企業レベルの対策が急務となっています。

今回、百福士プロジェクト第12弾として当社グループが取り組むのは、危機管理知識の習得と、災害時の心構えやキッチンカー

での支援スキル体得を目指す社員養成プロジェクトです。大阪および東京の本社に当社グループ社員が全国から集まり、本社社屋を避難所と見立てた避難所体験型の宿泊研修を行います。災害時に自身を守り、周りの人と生き延び、災害に動じず「食足世平」「食為聖職」の創業者精神を基に活躍できる社員を養成する。それが「もしもの時の日清メン 養成プロジェクト」です。



社会貢献活動に熱心だった日清食品創業者・安藤百福の志を継ぎ、「未来のためにできることを実行していく」活動です。

日清食品グループでは、創業50周年を迎えた2008年から「百福士プロジェクト」を実施しています。

テーマは「創造」「食」「地球」「健康」「子供たち」の5つ。創業100周年を迎える2058年までの50年間に、合計で100の社会貢献活動を行い、より豊かな地球社会全体の未来づくりに貢献していきます。



NISSIN NEWS

インスタントラーメン発明記念館の来館者数が500万人を突破!



「インスタントラーメン発明記念館」は、「子どもたちに発明・発見の大切さを伝えたい」という日清食品創業者・安藤百福の思いに基づき、インスタントラーメン発祥の地である大阪府池田市に開設された体験型食育ミュージアムです。1999年のオープン以来、来館者数は毎年増加しており、学校教育での利用も多く、また近年は海外からの来館者も増え、企業ミュージアムとしては屈指の人気を誇っています。昨年12月には累計来館者数が500万人を突破。当日は記念セレモニーを開催し、500万人目の来館者にはひよこちゃんジャンボぬいぐるみとカップヌードル1年分が贈られました。

株主様とのコミュニケーション

第13・14回株主懇親会を開催

2013年9月24日に、第13回株主懇親会をホテルニューオータニ東京で、また2014年2月25日には、第14回株主懇親会をホテルニューオータニ大阪にて開催しました。第14回では、2,457名の株主様にご出席をいただきました。当社からは代表取締役社長・CEOの安藤宏基をはじめ、役員・執行役員ならびにグループ会社の役員が出席しました。日清食品グループの経営状況についての説明に続き、試食ブースではグループ各社の製品を株主様にご試食いただきました。懇親会の最後には、10万円分の旅行券やチキンラーメン1年分などが当たる抽選会が行われました。



個人投資家向け会社説明会を開催

当期中において、日清食品ホールディングス東京本社ならびに野村證券および大和証券本支店にて、個人投資家向け会社説明会を計7回開催しました。当社執行役員が当社グループの企業概要、業績、株主還元方針、主要な取り組みなどについて説明を行い、合計500名以上の個人投資家の皆様にご参加いただきました。



会社概要 (2014年3月31日現在)

商号 日清食品ホールディングス株式会社
(NISSIN FOODS HOLDINGS CO., LTD.)
設立 1948年9月
資本金 25,122,718,774円
従業員数 525名(連結8,357名)
事業内容 グループ事業会社(国内・海外)への経営サポートなど

役員および執行役員・チーフオフィサー (2014年6月26日現在)

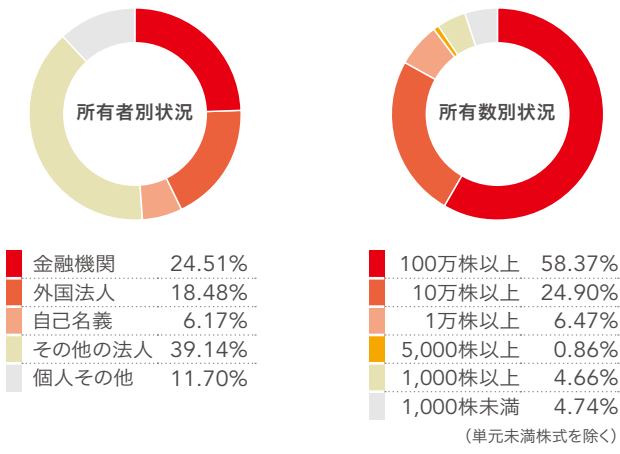
代表取締役 取締役社長・CEO	安藤 宏 基
代表取締役 取締役副社長・COO 兼 チルド・冷凍事業掌管	中川 晋 晋
代表取締役 専務取締役・CSO 兼 マーケティング官兼 SCM官兼	安藤 徳 隆
常務取締役 兼 明星食品(株) 社長	松尾 昭 雄
常務取締役・CBO	木島 綱 充
取締役・CDO	田中 山 之 雄
取締役・CFO	横山 善 功
取締役 兼 日清食品(株) 社長	安藤 清 隆
取締役・中国総代表	小林 健 健
社外取締役	岡藤 正 広
社外取締役	石倉 洋 子
社外取締役(独立役員)	服部 秀 樹
常勤監査役	金森 一 雄
社外監査役(常勤)	堀之内 徹 士
社外監査役	高野 裕 士
社外監査役(独立役員)	
上席執行役員・CQO	山田 敏 広
執行役員・CIO	喜多羅 滋 夫
執行役員・CRO	楠本 一 人
執行役員 グローバルイノベーション研究センター 技術開発部長	坂井 孝 司
執行役員 経営戦略本部 宣伝統括部長	鈴木 均 均
執行役員・CHO	田所 一 弘
執行役員 グローバルイノベーション研究センター副所長	藤縄 利 通
執行役員・CLO	本間 正 浩
執行役員 SCM本部 副本部長	村田 実 郎
執行役員 SCM本部 兼 CPO	山田 恭 裕
CAO	伊地知 稔 彦

※石倉洋子氏につきましては、そのお名前が高名であるため、上記のとおり表記しておりますが、戸籍上のお名前は、栗田洋子氏であります。

CEO (グループ最高経営責任者) = Chief Executive Officer
COO (グループ最高執行責任者) = Chief Operating Officer
CSO (グループ経営戦略責任者) = Chief Strategic Officer
CBO (グループ営業責任者) = Chief Business Officer
CDO (グループ食品総合研究責任者) = Chief Development Officer
CFO (グループ財務責任者) = Chief Financial Officer
CQO (グループ安全研究責任者) = Chief Quality Officer
CIO (グループ情報責任者) = Chief Information Officer
CRO (グループ資材調達責任者) = Chief Resourcing Officer
CHO (グループ人事責任者) = Chief Human resources Officer
CLO (グループ法務責任者) = Chief Legal Officer
CPO (グループ生産責任者) = Chief Production Officer
CAO (グループ管理責任者) = Chief Administrative Officer の略記とする。

株式の状況 (2014年3月31日現在)

発行可能株式総数 500,000,000株
発行済株式総数 117,463,685株
株主数 46,767名
1単元の株式数 100株
単元株主数 44,691名



株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団	79,043	7.17
三菱商事株式会社	78,000	7.08
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	74,039	6.72
伊藤忠商事株式会社	54,000	4.90
株式会社安藤インターナショナル	40,000	3.63
株式会社みずほ銀行	33,750	3.06
株式会社三菱東京UFJ銀行	26,285	2.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	25,111	2.28
小野薬品工業株式会社	24,604	2.23
江崎グリコ株式会社	23,610	2.14

※1 当社は、自己株式72,420百株を保有しておりますが、上記の大株主の状況から除いております。
※2 持株比率の算定にあたっては、自己株式数を除いて算出しております。

株主メモ (2014年3月31日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間	株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
配当金受領 株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日	株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
単元株式数	100株	郵便物送付先 およびお問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-288-324(フリーダイヤル)
定時株主総会	6月中に開催	上場金融 商品取引所	東京証券取引所市場第一部
基準日	3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。	公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告による ことができない事故その他のやむを得ない事由が生じた ときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 (公告掲載URL) http://nissin.com/koukoku/

ご案内

(1) 株式に関するお手続きについてのお問合せ先について

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 ブラネットブース(株式会社みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジでは、お取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 (みずほ証券株式会社では、取次のみとなります)	株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座 の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ 先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

(2) 電子メールアドレスのご案内

当社は株主様からのご意見を、お電話、お手紙のほか
に電子メールを利用してお寄せいただくための電子
メールアドレスを設けております。
当社についてお気付きの事柄がございましたら、次
のメールアドレスまでご意見をお寄せください。

- ① 電子メールアドレス
E-mail:soumu@nissinfoods-holdings.co.jp
- ② ご連絡先
〒160-8524 東京都新宿区新宿六丁目28番1号
日清食品ホールディングス株式会社 総務部
TEL:0120-938-366(フリーコール)
(土・日・祝日および会社所定の休業日を除く9:00~17:00)

株主優待制度が新しくなりました!!

当社では株主の皆様への日頃の感謝の気持ちを込めて、株主優待制度を導入しています。これまで「当社グループ会社製品詰合せ」のほかに、500株以上ご所有の株主の皆様に対しては「味の民芸フードサービスお食事券」を贈呈していましたが、2014年1月に味の民芸フードサービスの全株式を譲渡したことから、お食事券の贈呈を終了し、「当社グループ会社製品詰合せ」の内容を拡充したものを贈呈させていただくことにいたしました。

また、優待の内容がグレードアップする贈呈基準を500株から300株に引き下げ、300株以上ご所有の株主の皆様に対しては、「ひよこちゃんオリジナルグッズ」(1,500円相当)を新たに贈呈させていただきます。

対象株主	100株以上 300株未満	300株以上 1,000株未満	1,000株以上 3,000株未満	3,000株以上
A (製品)	1,500円相当の グループ会社 製品詰合せ	3,500円相当の グループ会社 製品詰合せ + 「ひよこちゃん オリジナルグッズ」 (1,500円相当)	4,500円相当の グループ会社 製品詰合せ + 「ひよこちゃん オリジナルグッズ」 (1,500円相当)	5,500円相当の グループ会社 製品詰合せ + 「ひよこちゃん オリジナルグッズ」 (1,500円相当)
B (寄付)	国連WFPへ 1,500円の寄付	国連WFPへ 3,500円の寄付	国連WFPへ 4,500円の寄付	国連WFPへ 5,500円の寄付
基準日 (贈呈日)	3月末日現在の株主様に対し、原則として6月に贈呈いたします。 9月末日現在の株主様に対し、原則として12月に贈呈いたします。			

※株主優待(A)、株主優待(B)のいずれかを選択



〈4,500円相当の贈呈例〉

当社株主優待における寄付のご報告

2014年3月31日を基準日とする当社「株主優待制度」において寄付を選択していただいた株主様は、下記の通りとなりました。
ご協力を賜りました株主様には心より御礼申し上げます。

- (1) 株主数 …………… 691名(累計 7,767名)
- (2) 寄付金総額…………… 173万3,500円(累計 1,638万3,500円)
- (3) 寄付先 …………… 認定NPO法人 国連WFP協会

※本選択は、2011年3月31日を基準日とする株主優待よりご案内いたしております。



NISSIN 日清食品ホールディングス株式会社

東京本社 〒160-8524 東京都新宿区新宿六丁目28番1号
大阪本社 〒532-8524 大阪市淀川区西中島四丁目1番1号
ウェブサイト <http://nissin.com/>

ホームページを
リニューアルしました

